

## <概要>

昭和62年度に「電気事業法」及び「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」の規定に基づき、電気事業者から資源エネルギー庁に報告された故障・トラブル等の件数は19件であった。

## <更新年月>

1998年05月 （本データは原則として更新対象外とします。）

## <本文>

昭和62年度に「電気事業法」及び「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」の規定に基づき、電気事業者から資源エネルギー庁に報告された故障・トラブル等の件数は19件であった。一基当たりの平均報告件数は0.5件であった。表1に事故・トラブル等報告件数（法律対象）を、表2に内容別報告件数を、表3に原子力発電の事故・故障等の報告件数一覧（電気事業用）を示す。

19件の内訳は、運転中（試運転中及び定期検査における調整運転中を含む）に自動停止したもの4件、運転中に手動停止したもの7件、定期検査における原子炉停止中に発見されたもの6件、その他のもの2件となっている。19件の主な原因を管理要素別に分類すると、製作管理が不適切であったもの4件、施行管理が不適切であったもの3件、保守管理が不適切であったもの8件、その他のもの4件であった。

なお、以上のいずれの事象についても、原子力発電所の周辺環境への放射能の影響はなかった。

## 原子力発電所の故障・トラブル等の概要（昭和62年度）

発生日	発電所名	概要
62. 4. 9	関西電力大飯発電所 2号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、U字状曲がり部の振れ止め金具部、管板拡管部及び管板拡管境界部に、有意な信号を発見。U字曲がり部の振れ止め金具部は、支持の不十分な細管が蒸気と水の混合した流れによって振動し、振れ止め金具と干渉したため減肉。
62. 4.14	関西電力高浜発電所 3号機	定期検査中、格納容器換気空調系統（停止時の使用系統）隔離弁の点検作業中に作業員が第二隔離弁の弁体とダクトにはさまれて死亡。
62. 4.24	東京電力福島第一原子力発電所 5号機	出力上昇中、発電機保護装置用の計器用変流器の導線の腐食断線により、当該保護装置が動作して発電機が自動停止し、引続き原子炉自動停止。
62. 5.27	関西電力美浜発電所 3号機	定格出力運転中、原子炉格納容器内床ドレン量に漸増傾向が見られたため、点検のため原子炉手動停止。
62. 7.11	関西電力高浜発電所	定格出力運転中、一次冷却材ポンプ（B）の振動が大きくなったため、原子炉手動停止。

	所 1号機	
62. 7.31	関西電力 美浜発電 所 2号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、U字状曲がり部の振れ止め金具部、管板クレビス部及び管板拡管部に、有意な信号を発見。
62. 8.22	東北電力 女川原子 力発電所 号 1号機	定格出力運転中、主変圧器のタップ切替装置に操作支障が発生したが、運転に支障がないため、電力需給の緩和をまって10月に点検・補修のため原子炉手動停止。タップ切替装置の操作支障の原因は、接触摺動面の面荒れのため。タップ切替装置を交換。
62. 8.28	中部電力 浜岡原子 力発電所 2号機	定格出力運転中、原子炉保護系電源系統の電磁式スイッチの焼損と原子炉再循環ポンプ停止装置補助リレーの端子のゆるみにより、原子炉再循環ポンプ 2台が停止したため、原子炉水位が上昇し、タービンが自動停止、引続き原子炉自動停止。
62.10. 1	日本原子 力発電敦 賀発電所 1号機	定期検査中、タービン関係試験が終了し、出力降下後の圧力調整中、調整弁の操作が若干速かったため、中間領域中性子束検出器の「中性子束高高」信号により原子炉自動停止。
62.10.30	関西電力 高浜発電 所 2号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管板上面直下部及び管支持板部に、有意な信号を発見。
62.11. 9	日本原子 力発電東 海発電所	定期検査中、原子炉内ガス温度測定用熱電対ケーブルを収納しているトレイの一部が腐食により脱落しているのを発見。原因はトレイ表面の酸化に起因するトレイ止め金具の損傷。
62.12.17	関西電力 大飯発電 所 1号機	定格出力運転中、蒸気発生器（C）のノイズモニターで異音検知、点検のため原子炉手動停止。
62.12.23	九州電力 玄海原子 力発電所 1号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管板上面直下部及び管支持板部に、有意な信号を発見。
63. 2. 2	中部電力 浜岡原子 力発電所 1号機	定格出力運転中、無停電電源装置の電磁式スイッチの焼損により、原子炉再循環ポンプ駆動装置の潤滑油温度検出器の電源が喪失したため、潤滑油温度高の信号が発生して原子炉再循環ポンプ 2台が停止し、出力が低下。スイッチ焼損の原因調査のため原子炉手動停止。
63. 3. 1	中部電力 浜岡原子 力発電所 2号機	定期検査中、電気設備の点検作業を行っていた作業員が誤って回路を短絡させたため、短絡による火花により火傷。
63. 3. 1	関西電力 大飯発電 所 1号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管支持板部、管板拡管部及び管板拡管境界部に、有意な信号を発見。
63. 3. 4	日本原子 力発電敦 賀発電所 2号機	調整運転中、中性子束計測装置の校正作業において、作業員が、4回路ある中性子束計測装置のうち、1回路のみについて回路から切り離して作業を行なうべきところを誤って別の1回路も切り離したため、「中性子束減少率高」により原子炉自動停止。
63. 3. 7	日本原子 力発電敦 賀発電所 1号機	定格出力運転中、原子炉再循環ポンプ（A）が自動停止。原因調査のため、原子炉を手動停止。
63. 3.18	東京電力 福島第二 原子力発 電所 1号 機	定格出力運転中、原子炉再循環ポンプ電動機（B）の上部軸受け部温度にわずかな上昇がみられたため、点検のため原子炉手動停止。

### ＜関連タイトル＞

[日本の原子力発電所における事故・故障・トラブルの推移（2005年度まで） \(02-07-01-01\)](#)

[日本におけるBWR原子力発電所の主要な事故・故障・トラブル（2005年度まで） \(02-07-01-02\)](#)

[日本におけるPWR原子力発電所の主要な事故・故障・トラブル（2005年度まで） \(02-07-01-03\)](#)

[昭和62年度試験研究用原子炉における事故・故障 \(12-03-01-08\)](#)

[昭和62年度放射性同位元素等取扱施設における事故・故障 \(12-06-01-08\)](#)

---

### ＜参考文献＞

（1）原子力安全委員会編（1988）：原子力発電所における事故・故障・トラブル等の概要（昭和62年4月～昭和63年8月）、昭和63年版原子力安全白書、114-130.

（2）（社）火力原子力発電技術協会（1988）：故障・トラブル等の状況、昭和63年版（昭和62年度実績）原子力発電所運転管理年表、151-230.

（3）科学技術庁原子力安全局編（1988）：昭和62年度の原子力発電所における故障・トラブル等について、原子力安全委員会月報 6号（第11巻 6号）、通巻 117号.

---

表1 故障・トラブル等報告件数

(法律対象)

炉 型	昭和62年度
B W R	8
P W R	10
G C R	1
総 件 数	19
基 数	35
一基当たり報告件数	0.5

(注) 基数は、年度末における営業運転基数。一基当たり報告件数は、営業運転中の報告件数及び基数で算出。

表2 内容別報告件数

項 目		昭和62年度
運 転 中	自動停止	4
	手動停止	7
停 止 中	蒸気発生器伝熱管の損傷	5
	蒸気発生器伝熱管以外の損傷	1
そ の 他		2
総 件 数		19

表1 故障・トラブル等報告件数

(法律対象)

炉 型	昭和62年度
B W R	8
P W R	10
G C R	1
総 件 数	19
基 数	35
一基当たり報告件数	0.5

(注) 基数は、年度末における営業運転基数。一基当たり報告件数は、営業運転中の報告件数及び基数で算出。

表2 内容別報告件数

項 目		昭和62年度
運 転 中	自動停止	4
	手動停止	7
停 止 中	蒸気発生器伝熱管の損傷	5
	蒸気発生器伝熱管以外の損傷	1
そ の 他		2
総 件 数		19

# 表3 原子力発電所の事故・故障等の報告件数 一覽

(電気事業用)

設置者	発電所名(運開年月日)	認可出力(MW)	昭和62年度
日本原子力発電	東海(1966.7.25)	166	1
	東海第二(1978.11.28)	1,100	0
	敦賀1号(1970.3.14)	357	2
	敦賀2号(1987.2.17)	1,160	1
東北電力	女川原子力1号(1984.6.1)	524	1
東京電力	福島第一原子力1号(1971.3.26)	460	0
	福島第一原子力2号(1974.7.18)	784	0
	福島第一原子力3号(1976.3.27)	784	0
	福島第一原子力4号(1978.10.12)	784	0
	福島第一原子力5号(1978.4.18)	784	1
	福島第一原子力6号(1979.10.24)	1,100	0
	福島第二原子力1号(1982.4.20)	1,100	1
	福島第二原子力2号(1984.2.3)	1,100	0
	福島第二原子力3号(1985.6.21)	1,100	0
	福島第二原子力4号(1987.8.25)	1,100	0
	柏崎刈羽原子力1号(1985.9.18)	1,100	0
中部電力	浜岡原子力1号(1976.3.17)	540	2
	浜岡原子力2号(1978.11.29)	840	1
	浜岡原子力3号(1987.8.28)	1,100	0
関西電力	美浜1号(1970.11.28)	340	0
	美浜2号(1972.7.25)	500	1
	美浜3号(1976.12.1)	826	1
	高浜1号(1974.11.14)	826	1
	高浜2号(1975.11.14)	826	1
	高浜3号(1985.1.17)	870	1
	高浜4号(1985.6.5)	870	0
	大飯1号(1979.3.27)	1,175	2
	大飯2号(1979.12.5)	1,175	1
中国電力	島根原子力1号(1974.3.29)	460	0
四国電力	伊方1号(1977.9.30)	566	0
	伊方2号(1982.3.19)	566	0
九州電力	玄海原子力1号(1975.10.15)	559	1
	玄海原子力2号(1981.3.30)	559	0
	川内原子力1号(1984.7.4)	890	0
	川内原子力2号(1985.11.28)	890	0
合 計		27,881	19
基 数			35
一基当たり報告件数(数/基数)			0.5

(注) 1. 本表は、「電気事業法」及び「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づく故障・トラブル等の報告を集計したものである。

2. 基数は、年度末における営業運転基数。一基当たり報告件数は、営業運転中の報告件数及び基数で算出。

(出典) 原子力安全委員会(編): 昭和63年版 原子力安全白書 大蔵省印刷局(1988)